習慣と対策で防ぐ火災
春の火災予防運動

3月1～7日、「春の火災予防運動」を実施します。

今年度の防火標語は「守りたい　未来があるから　火の用心」です。

住宅火災は「逃げ遅れ」によって亡くなる人が多く、死者数の約7割を65歳以上の高齢者が占めています。住宅火災の発生や逃げ遅れを防ぎ、命を守るため、「住宅防火いのちを守る10のポイント－4つの習慣・6つの対策」を実践しましょう。

【4つの習慣】▽寝たばこは絶対にしない、させない▽ストーブの周りに燃えやすいものを置かない▽こんろを使うときは火のそばを離れない▽コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。

【6つの対策】▽ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用▽住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換▽部屋を整理整頓し、寝具、衣類とカーテンは防炎品を使用▽消火器などを設置し、使い方を確認▽避難経路・方法を確保▽防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより地域ぐるみの防火対策。

◎市火災予防講演会を開催　3月5日㈬午後2時、東リいたみホール6階の中ホールで。

「災害の時代に向き合う」をテーマにした火災予防講演会。神戸大名誉教授の室﨑益輝さん。

定員200人。

無料。当日直接、会場へ。先着順。

＊　＊

問市消防局予防課TEL783・0799。

◆令和6年中の火災・救急・救助概要（速報版）

【火災】火災件数は34件で前年比10件の増加でした。火災による死者は3人で、前年と比べ増減はなく、負傷者は16人で前年比9人の増加でした。

主な出火原因は、不明・調査中を除き、配線器具によるものが7件、こんろ、電気機器によるものが各4件、たばこによるものが3件でした。

【救急】出動件数は1万2千596件で前年比276件の増加でした。事故種別では急病が8千409件で全体の67％を占めています。

搬送人員は1万1千377人で前年比448人の増加でした。傷病程度別では軽症が6千293人で搬送人員全体の55％を占めています。高齢者（65歳以上）の搬送は7千263人で搬送人員全体の64％を占めています。

【救助】出動件数は255件で前年比8件の増加でした。そのうち、活動件数は142件で前年比16件の減少、救助人員は120人で前年比14人の減少でした。

事故種別では建物などによる事故が92件、交通事故が12件、火災が9件などとなっています。

火災・救急・救助概要の詳細は市ホームページ（**下二次元コード**から読み取り可）に掲載。

問市消防局情報管理課TEL783・0123。

◆クリーンランドのダイオキシン類の測定結果を公表　焼却炉から排出するダイオキシン類の今年度測定結果は、**左表**の通り全て国の定める基準値を下回りました。

問豊中市伊丹市クリーンランドTEL06・6841・5771。

ダイオキシン類の測定結果

排ガス（ng−TEQ/m³N）	基準値
1号炉：0.0000030	0.1
2号炉：0	
3号炉：0.000051	
排水（pg−TEQ/L）	**基準値**
工場排水：0.00064	10

※m³Nは標準状態に換算した気体の体積を表す単位。TEQは毒性等価換算濃度。1ngは10億分の1g。1pgは1兆分の1g。

市役所・市民広場グランドオープン

令和4年秋に市役所新庁舎を開庁しましたが、その後も旧庁舎跡地に、芝生とウッドデッキを用いた市民広場の整備工事を進めてきました。

これまで市役所に来られた皆さん、近隣にお住まいの皆さんには、ご不便をおかけして恐縮でしたが、周辺工事なども含め、全ての工事を終え、3月23日㈰に、市庁舎グランドオープンの記念イベントを開催させていただく運びとなりました。

新たに整備した広場のコンセプトは「人と自然を繋ぐ交流空間」です。

子どもたちが広場に植樹したアメリカワシントンD.C.からの「里帰り桜」や頼山陽（らいさんよう）ゆかりの「台柿」など、本市ならではの樹々は、伝統の接ぎ木技術によって命をつないだ子孫樹です。広場の象徴として大切に育てていきたいと思います。

さらに広場は、市民の皆さんの意見をもとに段差を無くし、車いすやベビーカー利用者も含め、誰もが使いやすいユニバーサルデザインとなっています。

また、南海トラフ地震などの災害が発生した場合には、「防災広場」として使用することを予定しており、大型車両などが進入できる構造になっています。

広場の地下には大規模な倉庫を備えており、支援物資などの一時保管庫ともなります。

地球環境への配慮として屋根の一部に太陽光発電パネルを設置し、停電時にはバックアップ電源としても活用します。

記念イベント当日は、伊丹大使の石田靖さんによる「伊丹大使ラジオ」の公開収録を行うほか、キッチンカーや物販ブースなど、さまざまな催しで皆さんをお迎えし、公募した広場の愛称も発表します。ぜひお越しください（**本紙挟み込み**参照）。

普段は「憩いの場」として立ち寄っていただき、休日は市民の皆さんがイベントなどを開催する際に利用できるよう開放します。多くの人が訪れ、にぎわい、長く皆さんに愛される広場になることを願っています。

市長　藤原　保幸

ことば蔵　交流イベント

図書館「ことば蔵」1階の交流フロアで、次の通りイベントを開催します。いずれも無料。

★知的書評合戦ビブリオバトル　3月15日㈯午後2時。

「食」をテーマに本のプレゼン合戦。

定員はバトラー7人、観覧者制限なし。

申バトラー参加希望者は3月9日までに同館（観覧者は当日直接、会場へ）へ。先着順。

★ことば蔵即詠歌会Make Our Tanka#02　20日㈷午後2時。

参加者同士交流しながら、テーマに沿ってグループで短歌を詠み合う。短歌の本の展示あり。

定員15人。

申同館へ。先着順。

★きっと役立つ！偉人の名言・名句等をわかりやすく解説する講座　23日㈰午後2時。

偉人の名言・文学作品の名句・四字熟語などを分かりやすく解説。参加者の好きな言葉・名言について意見交換する。

定員15人。

申同館へ。先着順。

★田辺聖子さん追悼　ことばの花火大会　29日㈯午前10時半。

川柳好きの田辺聖子さんを偲び、市立伊丹ミュージアム名誉館長の坪内稔典さんを中心に詩歌を詠む会。

定員60人。

申同館へ。先着順。

＊　＊

★朗読会「NHK杯全国高校放送コンテスト指定作品を朗読する」　4月3日㈭午後2時半。

エフエムいたみパーソナリティーの秋山勉さんが読む、昨年のNHK杯全国高校放送コンテスト朗読指定作品を聞く。

対象・定員は、中学生以上30人。

申同館へ。先着順。

＊　＊

問図書館「ことば蔵」TEL784・8170。

伊丹子ども市展　入賞作品決まる

市教委は、「第22回伊丹子ども市展」の入賞・入選作品を決定しました。

絵画・書の2部門に市内外の幼児～中学生計824点の応募があり、うち478点が入選。

①

②

主な入賞者は次の通り（敬称略）。

【絵画の部】▷市長賞（**写真**①）＝岡田柚羽（緑丘小5年）▷議長賞＝貸川咲來（尼崎市立武庫北小4年）▷教育長賞＝山口優(西中2年)。

【書の部】▷市長賞（**同**②）＝櫻井歩那（園田学園中3年）▷議長賞＝長安哲慈（鴻池小3年）▷教育長賞＝川原咲良（南小5年）。

中央公民館TEL784−8000

「夏野菜の育て方」セミナー

【日時】3月29日㈯午前10時
【会場】中央公民館
【内容】菜園アドバイザーによる「夏野菜の育て方」をテーマにした講習
【定員】60人
【参加料】200円

申3月28日までに、電話でNPO法人伊丹市土に親しむ会TEL779−5544（平日の午前9時～正午）へ。先着順。

2025スワンフェスタ「歌うまいかも選手権」出場者募集

5月11日㈰午後1時にスワンホールで開催する「歌うまいかも選手権」の出場者を募集。

【内容】参加者がカラオケの採点で競い合う
【定員】30人
【参加料】無料

申4月10日までに市ポータルサイトから電子申請を（電話も可）。

応募多数の場合、4月23・24・26・27日のいずれかに予選会を実施。

詳しくは市ホームページ（**二次元コード**で読み取り可）で確認を。

中央公民館TEL784−8000